

松 楓

New!

卒業生からのお知らせ
コーナー開設

令和6年9月1日 発行

題字 故 井上知真元校長

48



水彩画「バスストップ」 24回卒 市川光男

埼玉県立飯能高等学校校歌

町田多加次 作詞
鈴木宣彰 作曲

一、雲光る

仰ぎみる

若き我らが

ああ限りなく

ここ飯能の

友よいざ

励み鍛へん

三歳の秋を

碧き多峯主

眼差しさやか

生命燃えて

高鳴る胸よ

学びの庭に

師とともに

二、夕靄の

縫いめぐる

若き我らが

ああ流れゆく

ここ飯能の

友よいざ

尋ね捜さん

明日の道を

天地の間

人間の水に

思念浮かべ

星霜偲ぶ

学びの園に

師とともに

三、大空は

武蔵野に

若き我らが

ああ唳々と

ここ飯能の

友よいざ

謳い歩まん

青春の日を

暁のいろ

陽はまた昇る

哀歓揺れて

吹く朝風よ

学びの窓に

師とともに

昭和50年制定

会長就任にあたって



24回卒 会長 都築 敏夫
(飯能市在住)

本年6月1日に開催されました定期総会におきまして、会長に選任されました都築です。歴史と伝統のある飯能高校同窓会の会長をお引き受けることになり、その責任の重さに身の引き締まる思いです。澤田前会長の志を受け継いで、同窓会のため、母校のため非力ではありま

すが尽力してまいります。本年の総会は、コロナ前の形に戻すため、懇親会を伴う総会とし、徳樹庵で開催いたしました。滞りなく総会も済み、懇親会では、和気あいあいと楽しい話に花が咲きました。

母校飯能高校は、飯能南高校との統合により、昨年4月から校名は変わりましたが新しい学校になりました。今年の3月、新校として初めての第1回卒業

生を送り出しました。飯能高校の歴史を見ますと、「組合立飯能実科高等女学校」から現在の新校まで5度の変遷を経て、変革期を乗り越えてきました。時代の変化に合わせてアップグレードを続ける飯能高校は、ますます発展してきています。卒業生の一人として大変心強く感じています。

新校のスタートに合わせて、飯能高校はソフト、ハード両面で教育環境の整備を進めています。その一環として、校舎1階西端に位置するセミナーハウスにラーニングコモンズ(生徒の自習室)が整備され、その一角に「同窓会コーナー」を設けて



不易流行〜これからの学びの在り方〜

校長 矢島 得充



平素より本校の教育活動に対して特段の御理解・御協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、新生飯能高校として開校し2年目を迎えました。令和元年度から準備を重ね、進学を重視し、地域と協働する魅力ある高校づくりを進めてまいりました。

これまでの教育は、知識や技能を習得し、迅速に効率よく再生できる力を養うことに力を注いできました。現在では、獲得した知識や技能を、様々な課題を解決していくためにどう役立てていくか、という活用力や活用する上で必要な思考・判断・表現力を育てる教育に各校種で重心がシフトしています。その力を養うために、各界で活躍されている方から社会課題などの情報提供を受け、フィールドワークを取り入れながら生徒が主

体的に学び深化させることが必要とされており、今や学びの一つの在り方となっています。課題解決に向けて思考する際に必要となる知識をその都度得ていくという学びに変えていくことが求められ、先行き不透明で予測困難な時代を生きていくために必要だとされています。まさに「不易流行」の言葉のとおり、これまで変わらない教育の中にも新しい変化を取り入れることがこれからの教育の在り方であり

ます。そこで新生飯能高校では、課題解決能力を育てる教育に注力してまいります。生徒が地域社会にある様々な課題に目を向け、課題を自分事として捉え、課題

解決のために他者と協働し、解決策や納得解を模索し、外に向けて発信する、いわゆる「探究的な学び」を進めております。学びのスタイルを転換するにあたって、教員自身も学生時代を通じて経験がないことから当初は戸惑いが見られました。現在でも試行錯誤を繰り返している状況です。この転換が定着するにはまだ時間を要すると感じておりますが、小・中・高の円滑な学びの接続のためにも、引き続き、教職員一同で最適な学びのスタイルを探究してまいります。

現在、県の事業である「学際的な学び推進事業」の指定校として、さらに、今年度、文部科

会長退任にあたって



23 回卒 澤田 清志
(飯能市在住)

歌えることに感激をし、また感謝しています。

「朝な夕なに鍛えたる、黒き
体躯を輝かせ・・・」100周
年の資料の中に、「応援歌」の
楽譜が掲載され、「ああ、歌える」
と懐かしく口ずさみました。入
学してすぐの昼休みのあの真つ
暗な体育館での思い出は、15歳
の自分たちにとっては鮮烈であ
りました。応援団の気合いと熱
意に圧倒され、叱咤激励されつ
つ覚えた校歌(旧)・体育歌・
応援歌。半世紀経過してもなお



「お役に立つことがあれば・・・」
と役員を引き受け
ここまで、多くの
役員の方々のご協
力によりやってま
いりました。また
会長を引き受けて
から4年、コロナ
旋風の真つ直中、
集まりを極力減ら
しての会の運営も、
今は懐かしくさえ



思います。その間に創立100
周年を記念した式典等も多くの
準備委員会の方々のご足労によ
り執り行うことができました。
私の繋ぎ役も役員任期満了とな
りました。感謝の気持ちで一杯
です。今後は、都築敏夫新会長
に引き継ぎます。幸い行政で培
われた高い識見と実行力があり、
大いに発揮していただけること
を期待いたします。

100周年の記念樹である「し
だれ桜」(校門入って左、道路側)
もあの暑い夏を過ごし、何輪か
の花をつけきれいに咲いており
ました。毎年の楽しみになりま
すし、このしだれ桜の成長と共に
「飯高生」が活躍をし、母校
「はんこう」が益々発展するこ
とを期待しております。そして
これからも応援をして参ります。

喜寿の祝

三十年後の再開



18 回卒
柿沼 育子
(飯能市在住)

私の世代は第一次ベビーブー
ムに生まれ、人口が多く、後に
「団塊の世代」とも呼ばれるよ
うになりました。

飯能第一小学校に入学すると、
1学年で9クラスの編成になり、
なぜか、編成替えは一度もあり
ませんでした。中学校では4つ
の小学校から生徒が集まり、16
クラスにもなったのです。人数
が多かったので、勉強でも運動
でも、良くも悪くも、みんなの
競争心が刺激されやすい環境の
中にいた世代でした。

飯能高校に入学し、部活は迷
わず卓球部に入りましたが、そ
の練習量も内容も、中学の時と
は比べものにはなりませんでし
た。

放課後の練習もさることなが
ら、引退された先輩方が休日も
返上して、男子にも女子にも同
じように厳しく、熱心に指導し
て下さったおかげで、皆の技術
も向上し、きつかった練習も、
互いに励まし合いながら乗り越
えることができました。学業よ
り部活優先だった3年間を終え
るまで残った同級生は、男子10

人女子は4人でした。
高校を卒業して、進学や就職
でそれぞれ別の道に進んでから
は、男性たちとは勿論、女性同
士でさえ会う機会もなく時が過
ぎてしまっていました。その頃
に、部活を共に過ごしたH君の
訃報を耳にした男性たちで、お
墓参りの話が持ち上がり、4人
の女性にも声を掛けてくれたの
です。

男女十数人で行ったお墓参り
での再会は、高校を卒業してか
ら30年も経ち、50歳に手が届く
頃になった私たちでしたが、あ
まりのなつかしさに話が盛り上
がり、帰る時間も忘れる程でし
た。それから忘年会、日帰りや
1泊の小旅行などで交流を重ね
て来ましたが、近頃では昼食会
になりました。こうして再会から
さらに30年が過ぎ、私たちも喜
寿を迎えることとなりましたが、
いつもの会が開きになる時
に「また会おうな、次は俺が
幹事をするよ」と言ってくれ
る仲間がいますから、この親
睦会はまだまだ続いていくこ
とでしょう。そして私たち仲
間を引き合わせてくれたH君、
みんなが思
っているの
です、あり
がとう、と。



2018年 茅ヶ崎マカナフラフェスティバルコンペティション
ソロの部 (シニア) で優勝

榎本 彰子さんへの インタビュー

26 回卒 榎本 彰子 (日高市在住)



2022年9月 茅ヶ崎グループの部



2022年11月 カウラナスタジオの発表会

Q 高校時代、体操部に入部したきっかけは？また、体操部での思い出がありましたらお聞かせください。

榎本さん 中学で新体操を始め、高校に入っても続けたく飯能高校を選びました。姉も飯能高校で新体操をやっていたのが

大きく影響したのだと思います。一番の思い出は厳しい夏合宿です。その甲斐あって初の関東大会出場を成し遂げました。大勢の新体操部卒業生がお祝いに駆けつけてくれたことが一番うれしかったことです。

Q 大学を決められたときの背景

榎本さん 大学は新体操を続けたく東京女子体育大学に進みました。姉も同じ大学を卒業しました。姉も同じ大学を卒業した。姉も同じ大学を卒業した。姉も同じ大学を卒業した。

つた悔しさからでしょう。フラにも大会があることを知り「チャレンジしよう！」と大会出場を目標に技術的な事を学び始めました。30年務めた仕事を辞め、フラの世界に飛び込むことに悔いはありませんでした。

との言葉に後押しされたこともあり、この大学に決めました。

Q フラダンスとの出会いや指導者になられた経緯をお聞かせください。

榎本さん 大学卒業後、縁あって城西大学事務職員として勤務していましたが、趣味で始めたフラダンスをもっと専門的に学びたく職場を退職し「カウラナ川島フラスタジオ」に通い始めました。大学時代の新体操部では選手として活躍できなかった

フラを始めたころは指導者になりたかった。自分にはありませんでした。自分はレッスンを受ける側でいたい、大会に出場したい気持ちが強かったので、数名のフラ仲間の勧めもあり指導が始まりました。

2010年に生徒さんを持ち、指導の勉強、大会の勉強、自分が受けているレッスンと忙しい中でも充実した時間を実感しています。気が付いたら大勢の生徒さんに囲まれて本当に幸せで

2010年に生徒さんを持ち、指導の勉強、大会の勉強、自分が受けているレッスンと忙しい中でも充実した時間を実感しています。気が付いたら大勢の生徒さんに囲まれて本当に幸せで



2018年 茅ヶ崎マカナフラ ソロ優勝

す。自分が何をしたいのかを優先しながら指導している「オルオルフラサークル」ですが、私の気持ちを理解し一緒に歩いてきてくださる生徒さんに本当に感謝です。生徒さんに育ててもらった指導者ですね。

Qフラダンスの大会で優勝されたとお聞きしています。その時のお気持ちや優勝に至るまでのご苦労話があればお聞かせください。

榎本さん

生徒を持って14年目になります。大会には過去6回出場、当初の大会では惨敗が続き精神的にへこんでばかりでしたが「夢をあきらめない」強い気持ちを持ち続けました。それでもグループでは優勝には手

が届きませんでした。大会はお金と時間が掛かるため生徒さんたちにこれ以上の負担をかけられないかと思い「ソロの部での出場が結果を出す」決断をしました。そして、スタジオ主宰川島先生、ハワイのクムフラ ケリー先生の指導を受けました。指導を受ければ受けるほどフラの知識の足りなさを実感、限られた時間のなかで勉強しながら猛練習しました。2018年茅ヶ崎マカナフラフェスティバルコンペティションソロの部で優勝、グループの部で3位。やっと夢がかなった瞬間でした。

Q指導者として日々活動されておられますが、後進の指導についてどのような点に気を配られてご指導をされているのでしょうか。

榎本さん

フラ人口も高齢化が進み減少傾向です。健康の問題や家庭の環境でおやめになる方もいます。それぞれフラに対する思いは違いますが、毎週この場所へ来ることが楽しいと思つてレッスンを受けてくれたら指導冥利に尽きますね。

Qフラダンスの魅力はどのようところにあるのでしょうか。

榎本さん

私にとつてのフラは残りの人生を楽しくしてくれ

たことでしょうか。

Q今後フラダンスに関しての活動で考えがありましたらお聞かせください。

榎本さん

サークルだからここまででいいのでは？と考えたことはありません。

踊る前のストレッチとベシツクは特に重視しています。何年やってもこのポリシーは変えられないので、生徒さんは少少きついかもかもしれませんが、このスタイルが自分らしいフラの指導かな？なんて勝手に思い込んでいます。

フラは音楽に合わせ順番を覚え楽しく踊るだけではなく、歌詞の意味に込められた思い、その時代の背景などをリサーチし、どのように踊り、見ている人に

伝えることができるかが指導者としての課題だと思います。

フラは競うことではなく学ぶことと言われています。これからもアロハの精神を忘れず、日々学んでいきたいと思っています。

Q特に若い世代に伝えたいことをお聞かせください。

榎本さん

若いころ一生懸命やった事は無駄ではありません。勉強、部活、仕事、これまで沢山の事を学びました。失敗や後悔も過去沢山あります。人生のいろいろな経験が今の私を応援してくれていると実感します。

Q質問に関わらず、伝えたいメッセージがあればお願いいたします。

榎本さん

忙しい日々の中、フラを始めたころの気持ちを忘



2018年 茅ヶ崎マカナフラ ソロ優勝

れかけていましたが、今回の掲載に携わり初心に戻ることでできました。ありがとうございます。

6月に、今回榎本さんをご紹介いただいた利根川さんと双柳地区行政センターにおいていただきお話を伺いました。

中高大学と新体操の厳しい練習に取り組んだことで、大変なことがあっても今に活きていると話されていたことが印象に残っています。

フラダンスの動きや衣装・髪かざりなどそれぞれに意味があることを教えていただき、華やかさだけではなくフラダンスの奥深さを感じました。

榎本さんのお話から、意欲と情熱があれば、何かを始めるのに遅いことはないし、いくつになっても学ぶことを忘れずにいたいと思いました。

お二人には、お忙しい中ありがとうございました。

(H・H)

先輩・後輩

アマチュア無線との出会い



15 回卒
小幡 巨
(飯能市在住)

「松楓」の役員をしている知人から、原稿依頼が有り、何故、私がという気持ちでしたが、お引き受けいたしました。

今、私は1年前に喜寿を迎えました。来年は80歳になります。卒業してから約60年が過ぎた今、高校生活3年間で記憶にあることは、アマチュア無線の資格を取ろうと考えたことでした。3年生の10月に中野区の試験場で受験しました。担任の石田先生から「合格したよ！」と言われた時には興奮と嬉しさが胸が一杯になってしまったことが今でも鮮明に思い出されます。ただ、何故、石田先生が知らせてくれたんだらうと不思議に思いましたら、父が担任の石田先生に合格通知の事を連絡してくれたことが分かりました。感謝しています。

ました。2年生の時、秋葉原の電気街(ジャンク市場)に行き真空管、抵抗、コンデンサーなど買ってきました。そして、半田ごてで接着して鉱石ラジオ作りを始めました。音楽や声が出たことに感動をしたことを今でも覚えています。そして、レベラアップとして並4スーパーラジオを組み立て聞いていました。また、アマチュア無線では、資格を修得している同級生が飯能高校で同好会を作ろうと言うことになりJAIYCTというコールサイン(呼出記号番号)を電波管理局から頂きまして、運用を始めました。JAIYCTやヤングでCIIチャージングなTIIとうちゃんで電波を発信していました。

このクラブコールは全国のクラブでは早く認定されたと思えますし、全国高等学校では早く開局できたと記憶しております。私は、3年生3学期の2月に申請をして、JEIFDEというコールサイン(既に廃局)を頂きました。よく天覧山の頂上の売店で電波をお借りして144MHz帯の周波数で発信してJCC100(全国市の中で100箇所と発信すること)を達成することができました。でも、仕事の都合で卒業してから2年ほどでアマチュア無線は閉局しました。現在は趣味でへら鮎釣りを関東近郊の釣り場で、釣り競技大会などで仲間と楽しんでおります。

変わらぬ学び舎



20 回卒
久下 文男
(飯能市在住)

創立100周年記念誌を手にした時、飯能高校の卒業生であることの誇りが強烈に心の底から湧いて来ました。記念事業に取り組んだ多くの皆様に深く感謝申し上げます。

「しがつせいわうたちまちはれ！」授業で習った漢詩の出だしが頭に浮かぶが、次が出て来ない。「四月の万緑をなごませる清らかな雨は、長雨にはならず、降ったかと思うとたちまち晴れてくる」どうしても全文を知りたい。卒業後、偶然会った担任であり国語、古文の森田高志先生に「私たちが在学中に使っていた教科書は学校の図書館か何かにあるのですか」と聞いて

たらしいと言う。その漢詩が載っているはずの教科書だけがとっておいでない。でもネットで検索しているうちに出て来た。

「初夏」司馬光

四月清和雨乍晴

南山当戸転分明

更無柳絮因风起

惟有葵花向日倾

初夏の情景のうたい出し、その印象が強く残っている漢詩なのでした。

在学中、古文・漢文は得意だった訳ではなく、ただ授業に夢中でついていっただけでした。写真は、とっておいた古典の教科書ですが、目次を紹介し、まずと、更級日記・伊勢物語・和歌・枕草子・大鏡・奥の細道・源氏物語・浄瑠璃です。

これらの入り口を学んだのですが、先生は出だしの数行だけでも暗記するようにと教えてくれていました。今でも折々に自然に口ずさめるのは、心の糧のような気がします。

「すみっこ図書館」を拝見させてもらう機会がありました。あのようなユニークな図書館は他にはなく、とても印象的でした。いろいろな学びの取り組みをしている飯能高等学校は昔も今も素晴らしい学び舎です。

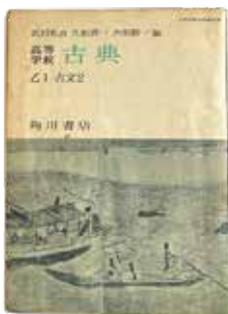
松楓によせて



25 回卒
大野 睦裕
(飯能市在住)

卒業して50年が過ぎ、開校100周年記念事業も無事に終了し、役員の方におかれましては、有難うございました。また飯能高校の新たな1年がスタートしたのではないのでしょうか。

私の飯能高校の思い出は、家から近かったから、そして最初の駅まで2.5キロ程国道と林道を歩くようだったので選んだ気がします。最初部活なんて考えていなかったのですが、入学当初、体育館の前で山中先生だっと思いましたが、決まって無いならと部活に勧誘されたので、弓道部を選んだ気がします。半年たった頃、私の誕生日に友達に付き合ってもらってバイクの免許を取りに行きました。その後は駅までバイクで通いました。弓道場は、運動部の部室の端で線路の際にあり、永井病院の裏の線路わきからよく出入りし正門はあまり使うことなく、授業、部活をして過ごしていました。卒業後、飯能高校にお世話になったのが、現在の飯能市民体育館を建設することになり、弓道場ができるので、市内の弓道



当時の教科書

人口を増やして活性化した方がよいとの話の時です。松崎先生をはじめOBも協力して弓道場を借りて教室を開催する手伝いをしました。その後、矢・掛は持っているけれど、バレエ、スポ少活動等で市民体育館は利用したり仕事としても体育館は使いましたが弓道はしませんでした。

現在は、自治会活動やスポーツの活動、自宅の周りの花木の手入れや、草刈り作業に追われているのが現状です。伊豆ヶ岳を望みながら、年が明けると間もなく眼下には彼方こちらに、ロウバイから始まり、梅、ミツマタ、桜そしてツツジ、野草が咲き、秋には紅葉が色づき四季折々の顔を見せてくれます。花が綺麗に咲くには、それぞれの時期に剪定を行う必要があります。ついでであれば夏前に切り込みをしないと翌年花が付きづらかったり、他の樹木では時期を間違えて手入れをすると枯れてしまうことがあります。こうして綺麗にしても何故か空しく思う時もあります。通りがかった人が、楽しみにしてくれている人がいるかもしれない、そんな気持ちで心の支えになっています。

最後に、大変かとは思いますが、会報を楽しみに待っている方がいると信じて、編集に携わっている役員の方々そして担当者の皆様には感謝しています。

出会い・縁



30回卒
利根川せつ子
(日高市在住)

幼い頃の私は、踊ることが大好きでお遊戯やダンスを張りきって演技している子どもでした。

中学卒業間近、体育の先生に「飯能高校に入学するのなら新体操をやってみたらどう？」と勧められ、入学後迷うことなく新体操部に入学しました。ところが、入部当時の私は極度の貧血に悩まされ部活動どころか病院通いの毎日、顧問の飯野先生や先輩方には御心配をお掛けし、悔いの残る一年を過ごしてしまいました。

2年生になり、体調も回復し部活動に前向きに取り組みできた夏合宿。出会いがありました。当時体育大学に進んでいた「松本先輩」です。秋の大会に向けて振り付けや技術の指導をしてくださいました。この時にはまだ後に深く関わる方になるとは思ってもいませんでした。

高校卒業から30年程たった頃「飯野先生を囲む会」が開かれ飯野先生、歴代の新体操部員が一堂に集まり、あの「松本先輩」と再会できました。先輩はフラダンスを披露してくださいました。私はそれまでジャズダンス

やベリーダンスなどを踊ってきましたが、正直なところフラダンスはあまり興味がなかったのです。ところが先輩の踊りを観てすっかり魅了され「私も踊りたい」と一気に心が動いてしまいました。その後、縁あって「松本先輩」はフラダンスの「榎本先生」として再会。フラダンスに出会わせてくださいました。

いざ始めてみると想像以上に難しく、フラダンスの奥深さに驚くばかり(汗)。初心者の方に部活動さながら厳しくも丁寧な基礎から指導してくださいました。練習を重ねること4年、茅ヶ崎で開催されるコンペティションに先生と一緒に出場することができました。

還暦を過ぎてこの様な挑戦をするとは想像していませんでした。



飯野先生を囲んで

だが、舞台上立った時の緊張感と高揚感は忘れられない経験となりました。飯能高校で新体操に入部していなければフラダンスとの出会いはなかったかもしれません。フラダンスは手と体の動きで感情や情景を表現します。明るい笑顔で踊ることを心掛け、この縁に感謝して健康で体が動く限り続けていきたいと思っています。

ありがとう、飯能高校



35回卒
須田 俊一
(飯能市在住)

今回の寄稿にあたり、改めて振り返ると飯能高校を卒業して実に41年が経過していて驚きました。私は昭和55年の入学で、単純に自分の学力と自宅からの通いやすさでこの高校を選んだと思います。でも、その結果、祖母が飯能実科高等学校卒業、母が飯能高校卒だったので、三代にわたって飯能高校にお世話になったことになりました。

入学すると、山間部の少人数の中学校出身の私には、8クラスはカルチャーショックで、最初は他のクラスの人の接し方に戸惑っていたと思います。しかし、クラスメイトにも部活で知り合った友人たちにも本当に

恵まれ、3年間楽しく過ごすことができました。

一番記憶に残っているのは、やはり修学旅行でしょうか。3日目に広島県の宮島に到着した後、食中毒でかなりの人数が入院騒ぎとなり、テレビのニュースにもなっていました。私のクラスは被害者が少なかったと思います。それでも複数人が入院し帰りの岡山駅で合流となっていました。残念な思い出ですが、いまだに話題にしています。

もう一つは部活です。無線部と地学部を掛け持ちして、アマチュア無線の免許を取得してからは自宅でも深夜まで無線交信や自作アンテナの製作などのめりこんでいました。その一方で流星観測なども楽しむという調子でしたから、クラス担任からは「目標があるならちゃんと勉強しろ！」と何度も言われていたような気がします。

それでも希望する大学に運よくなんとか進学でき、現在はどの大学でもなくなっている「林学科」という学科で4年間、森林や林業について学ぶことができました。

大学入学時に、高校時代の無線部での経験が思わぬ恩恵をもたらしてくれた。どちらかというと内向的、人見知りだった私は、無線で全く知らない人たちと話をしていたことで、大

学時代だけではなく就職してからも人間関係を築くための会話の大きな助けになりました。

その後、地元の地方自治体に、林業の技術職として採用されました。森林土木工事の担当では、山崩れの復旧や土石流の予防、林道の設計・監督、また、その後は地元産の木材の利用促進や再造林・間伐などの森林整備などに関ってきました。林業といえば飯能近辺は「西川材」の産地で、山林所有者や木材関係会社の方々と接する機会もあります。そういう場面で、時には飯能高校の先輩方とお会いすることもあり、同窓の縁で交渉が円滑に進むなど、卒業してからも飯能高校にはお世話になっていると実感しています。

還暦まであと一年となった昨年に、何人かのクラスメートが同窓会を提案し、連絡がついた15名程度が集まりました。30数年ぶりに再会した友人たちは概ね歳相応になっていましたが、会って10分もたたないうちに気持ちだけは高校時代に戻って本当に楽しい時間を過ごし、還暦となる今年に再び集まることを約束したところです。



私の未来へのきっかけ



40回卒
加成 庶子
(飯能市在住)

飯能高校を卒業して36年、飯能で生まれ育ち今も飯能に暮らしています。日常の中で飯高の生徒たちを見かけることもあり、時々、当時のことを思い浮かべ、高校生の若いパワーを感じ、これから楽しみねって勝手に応援しています。

現在の私は、夫の生業である西洋鍛冶のマネージメントをしていて、夫婦二人三脚で仕事をしています。西洋鍛冶とは、無垢の鉄を炉で真赤に熱しハンマーワークでかたちをつくる技法で欧州では古来からブラックスミス(鍛冶職人)と呼ばれていました。仕事の内容は扉や面格子、彫刻、モニュメントなど依頼を請けて制作し納めます。夫は仕事に留まらず鍛冶のワールドカップへ挑戦し、銀メダルを受賞いたしました。

ふたりで20年間仕事をしてきて、仕事の先に鍛冶職人としての称号を認めていただけだったので、海外から若い鍛冶を志す職人の卵が私たちのもとへ技術の習得、日本の文化を学びにやって来ます。これまでにフランス、チェコ共和国、アメリカ、アルゼン

チンとたくさんさんの鍛冶職人が私たちの工房へ来ています。チェコ共和国のリカルド君が滞在している時には飯能大通りにある小町公園で、日本の鍛冶職人が集まり2日間ベンチをライブ制作しました。私たちが海外で実際に経験したことを飯能で実現できたこと、日本国内でも初めての試みでした。今年もイタリア鍛冶美術協会から招待があって彫刻をつくりに渡欧します。

今思うと高校生の時、海外への憧れがあり、旅をしたり友人を持ってたらくと深く思っていたことがこのような鍛冶を通して叶っていることが現実となり、きっかけの積み重ねがそう至ったのだと思います。もう一つ叶ったことは、鍛冶のショールームを持ってたことです。昭和2年に建てられた商店建築の生家を生かし、四間のガラス障子は現役で「飯能で残したい建築」というコンペで入賞し、趣きのある建築を残し飯能らしい町並みに馴染めたらいいなと思っています。

今があるのは、きっかけと小さな積み重ねがあつてのことで生活、仕事、趣味、全てに通じることだと思います。こう考える私の基礎は飯能にあり、高校の時に思ったことが様々なきっかけを引き寄せ生んだのかもかもしれません。飯能高校の生徒のみならず、未来を思い縁を大切に

思い出



45回卒
末次 和宏
(飯能市在住)

平成5年の3月に飯能高校を卒業して31年が過ぎ、今回の原稿依頼を受け、改めて飯能高校を思い返しますと、「高校時代の仲間との経験」、「卒業後に出会った飯能高校の同窓生の方々の繋がりと」と、私の人生に大きな出会いをもたらした学校であると強く感じています。

その中で、高校生活3年間の思い出と言いますと、授業、部活、友人との時間など様々な思い出がありますが、大きな思い出は、卓球部として3年間部活動に取り組んだ記憶が特に残っています。

私は、中学校から卓球を始め、飯能高校に入学した際に、中学校とは違う部活への入部も考えたのですが、なぜだか、高校でも同じ卓球部に入部することにしました。

この高校生活での部活動を今想うと、自分が在籍していた3年間は、コーチ等が居るわけではなく、決して強い部活ではない状態で、どちらかと言うと、

進まれご活躍されますように。ありがとうございます。

西部地区の大会においても早々に敗退し、県大会には出場することはできない学校でした。しかしながら、団体戦および個人戦(シングルス、ダブルス)で、県大会に出場する目標のために、先輩、同級生、後輩と一緒に日々練習をし、どうしたら勝つことができるのか、また、県大会に出場することができるとかを、ひとつずつ試行錯誤をしていた3年間だったと思います。残念ながら結果として、目標を達成することはできませんでしたが、この3年間で取り組んだ日々は、とても有意義な時間であったとの思いと、試合で勝つことの難しさや楽しさを教えていただいたことで、卓球を続けていきたいという思いが強くなった3年間であったと思います。

その後、飯能高校を卒業し社会人となり、高校時代に勝つことができなかった悔しさから、飯能市内の社会人クラブに所属をし現在まで卓球を続けております。相変わらず試合には勝てず試行錯誤の日々で勝つことの難しさを痛感していますが、卓球の場面に限らず、様々な年代の飯能高校の同窓生との出会いや繋がりがあり、また、その同窓生の方々から多くの応援をいただき、飯能高校を通じたご縁のあるすべての方々へ感謝をして

おります。
最後になりますが、飯能高校の関係者の皆様のご健勝と、飯能高校の更なるご発展を心よりお祈り申し上げます。

高校時代の思い出と今後



55 回卒
谷ヶ崎 亮
(川崎市在住)

同窓会会報「松楓」に、私の高校時代の思い出や近況等を書いて送って欲しいと母から頼まれ今パソコンの前で思案している。

私の高校時代といえば、朝礼に遅刻しつつ登校し、授業が終われば当時所属していたサッカークラブに通い、夜遅くに自宅に帰るといふ日々を送っていた。そのサッカークラブは東京都あきる野市にあり、週6日通っていた。授業が終わると自転車で東飯能駅に向かい、八高線で拜島駅まで行き五日市線に乗り換え、片道1時間以上かけて通っていた。練習が終わるのは21時頃で電車の本数も少なかつたため帰りは23時近くになる事もあった。周りの友人達は学校の部活や文化祭などのイベント、放課後のバイト・恋愛等に精を出しており、それを羨ましく思った事は一度や二度だけではない。

かった。

そんな中で3年間そういった活動を続けられた事は両親の協力があってこそだが、自分自身もよく頑張ったと思うし、以後の人生においても重要な意味を持つ期間だったと思う。

それはサッカーというスポーツが上手くなる事以上に、目標を持って行動する事の大切さが知れ、努力は必ずしも報われないが、努力しないと報われないというある意味残酷な教訓を学ぶ事にも繋がったからである。

そんな私も高校を卒業して早22年がたち、今年40歳になったが、高校生だった頃と比べて大きな変化があったかと言われるば、見た目が老けた以外は特にない。当時は年齢を重ねる毎に勝手に大人になっていくのだと思っていたが、どうやら違うようだ。

少なくとも高校生だった自分がイメージした40歳にはなっていない様に思う。それがいい事なのか悪い事なのかはわからないが、私自身はそんな自分を結構気に入っているおめでたい人間である。

人それぞれ大人の定義はあると思うが、私にとって大人になるというのは人生の中で数々の失敗を重ねるにつれ、失敗しないためにそもそも挑戦や行動をしなくなり、活力を失う事ではないかと思っている。誰しも小

さい頃は失敗を恐れずに色々な事に挑戦が出来るが、年を重ねるにつれ失敗の恐怖や自尊心が邪魔をして、徐々に挑戦しなくなっていく。

私も人生の折り返しの年齢になったが、高校生だった頃にイメージした50代、60代とは違うおじさんになれるように、大人になる事なく挑戦・失敗し続ける人生を歩んでいきたいと思っています。

大切な人たちとの出会い



65 回卒
佐野 夏水
(飯能市在住)

「小学校の先生になってみたら？」私が小学校教員を目指すきっかけとなった言葉だ。

高校時代は部活動に打ち込んだ。小学生の頃から続いていたホッケーをするために、飯能高校を選んだ。それまでは、ホッケー部のない中学校に通っていたため、クラブチームに入っていた。平日は、各学校で別々に練習や部活動をし、土日だけ集まって練習していた。高校の部活動は、朝練習から放課後の練習まであり、大人数での練習や監督に指導してもらえ環境に、毎日が新鮮で楽しかったことを覚えてる。朝練でのタイヤ押

し。練習終わりに仲間と一緒に歌を歌いながら通った帰り道。試合で勝った時の喜び。負けた時のくやしき。技術面での丁寧な指導。一つひとつが私の中で大切な思い出となっている。

2年生になり、高校卒業後の進路について考える時期が来た。当時の私は、大学でもホッケーを続けたいけれど、どこに行きたいか分からなかった。やりたいたいはたくさんあるけれど、明確なものではなく、どこで何をしたいのか悩んでいた。小さい子と関わるのが好きで、面倒を見ることも好き。そんな話をしてる時、担任の先生からこの言葉をもらった。

それからは、ホッケーができて小学校教員の免許が取れる大学を探した。ホッケー関係の縁もあって、関西の大学に進むことに決めた。大好きな家族や仲間と離れるのはすごく寂しかったし不安も大きかったが、自分の夢のため、がんばることにした。



全日本社会人大会予選でのシュート！

大学では、大好きなホッケーと夢をかなえるための勉強に励み、充実した4年間を過ごすことができた。また、毎日と一緒に過ごした寮生、ゼミの仲間や先生、ホッケーについて熱く語った仲間など大切な人とのたくさんの出会いがあった。

今現在は、小学校教員として毎日子どもたちと楽しく過ごしている。大変なことももちろんあるけれど、それ以上に学ぶことや楽しいと思えることがたくさんある。また、ホッケーの社会人チームにも加入し、今でも大好きなホッケーを続けられている。今まで関わってきた人たち、お世話になってきた人たち、私自身が今までがんばってきたことが今につながっているんだと思う。これからも大好きなことを続けつつ、周りの人たちへ、私のできることをしていきたい。



部活動への想い



70回卒
佐野 優水
(飯能市在住)

私の高校生活ほとんどの思い出は部活動です。小学生の頃から姉の影響でホッケーをしてきたことから、ホッケー部がある飯能高校に入学しました。

中学生の時は、部活動にホッケー部がなく、別の部活で活動しながらクラブチームでホッケーをしていました。クラブチームでの練習は、市内の様々な地区から中学生が集まります。私はグラウンドから離れたところに住んでいたため、チームで練習できるのは休日の2日間。そ



大学時代 試合中のドリブル

れ以外は体育館での室内練習か自宅での自主練習でした。その中でも、関東大会や中学2年生の際は、全国大会などにも出場できました。しかし、どうしても勝つことができない壁や大きな大会で全国レベルの選手を目の当たりにし、もっとホッケーがしたい。本気でホッケーに向き合いたい。全国レベルの選手と同等に戦いたい。という思いがあり、飯能高校でホッケーをすると決意しました。

高校に入学し、待望のホッケー部に入部しました。入部してすぐは、ホッケーに打ち込めるという環境の嬉しさと、これからの期待で毎日が楽しかったことを覚えています。また、初めて立った高校1年生のインターハイでは、全国ベスト3という結果を残すことができました。

その後2年間の中でも、関東大会、インターハイ、全国選抜などの様々な大会に出場しました。時に、チームメイトとぶつかり悩んだり、ホッケーに前向きになれず苦しんだりした時期もありました。その際に私の力になってくれたのが、いつも楽しませてくれる友人や家族の支えです。そして、切磋琢磨し一緒に戦って来たチームメイトのおかげで、沢山のことに挑戦できたと思っています。

私は高校でのホッケーを活かし、大学へ進学しました。チー

ムメイトには、全国レベルの選手ばかりで、最初は練習についていくことで精一杯でした。しかし、高校の時に味わった悔しさや今まで別のチームで戦って来た選手と一緒にプレーできることの嬉しさもあり、全力を傾けて努力しました。おかげさまで、U-21にも選抜していただき海外遠征などを経験させていただきました。

高校生活、勉強しながら、大好きなホッケーを毎日できる環境。仲間と共に上を目指し、全国大会という舞台で戦える環境。そして、沢山の方々に支えてもらいながら3年間様々な試練に乗り越えたこと。現在でも、関わって下さった方々や環境に感謝しながらも、全てが私にとって最高の思い出だと思っています。

高校生活で感謝していること

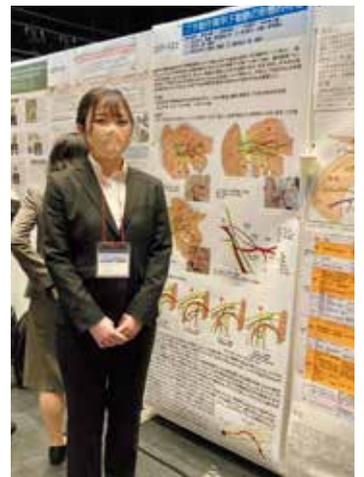
74回卒 尾形 愛実
(飯能市在住)

であったと感じます。

高校決定では学
校紹介で見た書道
パフォーマンスに
興味を持ち、飯能
高校の書道部に入
りたいと思うよう
になりました。そ
うして入った書道

部では顧問の先生を始め、素敵な先輩方や後輩に恵まれ、3年次は部長として部活を全うすることができました。1年次の文化祭で行った書道パフォーマンスは、私の人生で忘れられない思い出になっています。2・3年次は残念ながら新型コロナウイルスにより書道パフォーマンスを文化祭で行うことは叶いませんでしたが、展覧会や展示会の作品制作に尽力し、邁進することができました。

歴史ある飯能高校では進路の選択肢が多く、大学進学では自分のなりた職業に付随して解割ができる現在の大学に惹かれ、進学を決定しました。中学生の頃から推薦で大学に入りたいと考えていたため、高校生活では勉強にも力を入れ、定期試験の勉強はもちろん、英検や小論文、面接の対策まで本当に沢山の先生に助けられ、新型コロナウィルスによる様々な制限があったにもかかわらず、無事志望大学へ合格することができたのです。



日本解剖学会にて

飯能高校を卒業してから3年が経ち、私は埼玉医科大学で理学療法士になるべく毎日勉学に励んでいます。3年生となった今は、実習に向けた実技や日々の課題に追われ、大変ではありますが同じ夢を目指す仲間と共に充実した日々を送っています。そして有難い機会をいただき、課外的に豚胎仔の解剖を研究内容として日本解剖学会にも参加させていだいています。高校時代から今尚、自分のやりたいことや好きなことができていくということ、は人生の活力になっていると感じます。最後にありますが、飯能高校の益々の発展を願って結びとさせていただきます。



New! 卒業生からのお知らせ

湯川司書送別会

飯能高校に長年勤められている湯川司書が令和6年度で勇退されます。つきましては、私達OB・OGから湯川司書へ感謝の気持ちを込めて送別会を開催致します。湯川司書に直接感謝を伝えたい方や、ただ会いたい方は是非ご参加ください。加えて当日の会場設営にご協力して頂ける方を募集します。参加の連絡は下記参加登録フォームからお願いします。又、ご都合が合わず直接来られない方向けにメッセージも募集します。詳細は下記連絡先にお問い合わせください。



日 時：2025年3月15日（土曜日）

集合時間：9：00

集合場所：飯能高校図書館

開催場所：飯能美肌イタリアンレストラン イーズパッション (E's Passion)

参加対象：2018年度（71回卒）～2023年度卒業生（新1回卒）

会 費：3,000円

送別会代表：徳江快斗（71回卒）

連絡先：hhsumilib@gmail.com

参加登録フォーム：<https://forms.gle/KkVcaV3tgDYjGrzU6>



参加登録フォーム
QRコード

「24回卒6組のプチクラス会」

本年6月15日に24回卒6組のプチクラス会（11名参加）を徳樹庵飯能店にて17時から開催しました。還暦を迎えた際の前回のクラス会以降は、コロナ感染等の影響により開催が困難な時期もあり既に10年が経っていたため、それぞれの思い出話に湧き楽しいひと時を過ごしました。そして、次回はより多くの方々に参加できるクラス会の開催に向け、日時や場所等についての話し合いを行います。

「35回卒3年7組クラス会」

23年11月18日に34年ぶりのクラス会を開催しました。担任の戸塚先生をお招きすることができ、高校時代を懐かしく語り合いました。先生を含めて16人が参加しました。今年には皆の還暦祝いを兼ねて、改めてクラス会を企画中です。



「卒業生からのお知らせ」コーナーを開設しました。同窓会会員の皆様にお知らせしたいことや写真等がございましたら、飯能高等学校同窓会ホームページのお問い合わせからご連絡ください。

Homecoming Day

飯高って 今 どうなってんの！ 校舎見学ツアー

日時

令和6年11月14日（木）県民の日
午前10時30分～正午

※申し込みは、必要ありません。

集合場所

※集合場所は2か所あります。
便利な方に集合してください。

- ①飯能高校事務所前 午前10時20分集合
(駐車場はありません。)
- ②飯能駅北口交番横 午前10時集合
(歩いて学校まで行きます。)

令和6年度 飯能高等学校同窓会定期総会

令和5年度 飯能高等学校同窓会 事業報告

事業月日	事業内容
05・04・08	開校式・入学式
05・04・15	役員会① ・総会について ・会報について
05・05・16	監査会
05・05・20	役員会② ・総会について ・会報について
05・06・03	定期総会 ・校内見学
05・06・17	役員会③ ・会報発行委員会(松楓47号編集)
05・07・01	役員会④ ・会報発行委員会(松楓47号編集)
05・07・22	役員会⑤ ・会報発行委員会(松楓47号編集)
05・08・05	役員会⑥ ・会報発行委員会一校正
05・08・26	役員会⑦ ・会報発行委員会二校正
05・09・01	会報「松楓」47号発行
05・09・02	役員会⑧ ・松楓47号発送作業
05・10・28	役員会⑨ ・会報について反省
05・11・25	役員会⑩ ・会報について ・総会について
06・02・03	役員会⑪ ・会報について ・総会について ・新年会
06・03・07	新第1回入会式(223名)
06・03・08	卒業式
06・03・23	役員会⑫ ・総会について ・会報について

令和6年度 飯能高等学校同窓会 事業計画

事業月	事業内容
06・04	入学式
06・04	役員会 ・定期総会資料検討 ・会報発行委員会(松楓48号)
06・05	監査会
06・05	役員会 ・定期総会資料検討 ・会報発行委員会(松楓48号)
06・06	定期総会
06・06	役員会 ・会報発行委員会(松楓48号 寄稿文依頼確認作業)
06・07	役員会 ・会報発行委員会(校正作業1)
06・07	役員会 ・会報発行委員会(校正作業2)
06・08	役員会 ・会報発行委員会(発行最終チェック)
06・08	役員会 ・松楓発送準備作業
06・09	会報「松楓」48号発行・発送
06・10	役員会
06・11	役員会 ・研修会
07・01	役員会
07・02	新第2回入会式 同窓会役員出席
07・03	卒業式 同窓会会長出席
07・03	役員会 ・事業内容反省会等

令和5年度 飯能高等学校同窓会 収支決算

収入の部 単位：円

科目	予算額	収入済額	比較増減	摘要
会費	1,620,000	1,115,000	△505,000	令和5年度飯能校舎卒業生(223名×5,000)
繰越金	5,689,782	5,689,782	0	前年度から
会報定期購読収入	30,000	6,000	△24,000	令和5年度新規分(6名×1,000)
賛助金	10,000	34,000	24,000	6名(市川加代子様、北岡玲子様、駒井正子様、篠原睦枝様、新原泰佑様、森瓜子様)
雑収入	218	12,052	11,834	預金利子52 100周年記念誌代12,000(6名×2,000)
合計	7,350,000	6,856,834	△493,166	

令和6年度 飯能高等学校同窓会 予算

収入の部 単位：円

科目	本年度	前年度	比較増減	摘要
会費	1,095,000	1,620,000	△525,000	令和6年度飯能校舎卒業予定者(219名×5,000)
繰越金	5,249,112	5,689,782	△440,670	前年度から
会報定期購読収入	30,000	30,000	0	松楓定期購読収入(30名×1,000)
賛助金	10,000	10,000	0	
雑収入	888	218	670	預金利子等
合計	6,385,000	7,350,000	△965,000	

支出の部 単位：円

科目	予算額	支出済額	比較増減	摘要
会議費	50,000	49,831	169	役員会 27,961 入会式 21,870
総会費	50,000	32,740	17,260	
会報発行費	800,000	789,669	10,331	松楓47号(9月1日発行)
慶弔費	30,000	0	30,000	
事務費	50,000	14,482	35,518	文具代 2,538 コピー代 8,340 手数料 3,604 学校応援事業
事業費	500,000	500,000	0	
研修費	50,000	0	50,000	
保守管理費	130,000	121,000	9,000	サーバー保守料データ管理料
備品費	350,000	0	350,000	
積立金	100,000	100,000	0	学校応援事業等基金積立金
予備費	5,240,000	0	5,240,000	
合計	7,350,000	1,607,722	5,742,278	

支出の部 単位：円

科目	本年度	前年度	比較増減	摘要
会議費	80,000	50,000	30,000	役員会
総会費	100,000	50,000	50,000	
会報発行費	800,000	800,000	0	松楓(48号)印刷
慶弔費	30,000	30,000	0	
事務費	50,000	50,000	0	事務用品等
事業費	250,000	500,000	△250,000	学校応援事業等
研修費	50,000	50,000	0	
保守管理費	130,000	130,000	0	サーバー保守料データ管理料
備品費	700,000	350,000	350,000	
積立金	350,000	100,000	250,000	学校応援事業等基金積立金
予備費	3,845,000	5,240,000	△1,395,000	
合計	6,385,000	7,350,000	△965,000	

【基金残高】 学校応援事業等基金 300,014円

収入合計6,856,834円-支出合計1,607,722円=5,249,112円(令和6年度へ繰越し)
【財産目録】 普通預金 5,249,112円
定期預金(学校応援事業等基金) 300,014円

次回 同窓会総会
令和7年6月7日(土)



令和6年度 総会開催
令和6年6月1日(土)に、「徳樹庵」にて飯能高校同窓会定期総会が開催されました。
飯能高校からは、矢島校長先生、山本教頭先生、發智教頭先生、黒沢事務部長、創立100周年記念事業実行委員会木川会長も参加され、27名にて行われました。
そして、第2部として、5年ぶりの親睦会もほとんどの方が参加し、楽しい交流の場となりました。

令和6年度 総会開催

同窓会事務局からのお知らせ

住所等変更届

住所、氏名等が変更になったときは、事務局又は下記のアドレスにご連絡ください。

*同窓会ホームページお問い合わせアドレス
hankou.dousoukai@gmail.com

ホームページのご案内

パソコン又はスマホから「飯能高校同窓会」で検索しますと、ご覧いただくことができます。是非とも、多くの方にご覧いただきますように。



飯能高校同窓会

新生飯能高校 第1回同窓会入会式

令和5年度の卒業証書授与式の
前日、令和6年3月7日(木)
に同窓会入会式が行われ223
名が入会しました。



創立100周年記念誌の販売

創立100周年記念誌は、残数限りとなりますが、1冊
2000円にて販売しております。
ご購入をご希望される方は、飯能高等学校同窓会ホーム
ページのお問い合わせからご連絡を頂くか、あるいは左記のメ
ールアドレスまでご連絡くだ
さい。

E-Mail: hankou.dousoukai@
gmail.com

尚、お申し込みの際には、
必ず、ご住所、お名前、電話
番号をご連絡いただけますよ
うお願いいたします。



原稿・写真募集 投稿者には、スゴイ特典

同窓会では、「松楓」の原稿を募集しています。テーマは、高校時代の思い出や現在の様子など何でもかまいません。文字数は800字程度でお願いします。また、昔の飯高の写真なども募集しています。ご応募いただいた写真はお返しいたします。応募を希望する方は、役員に連絡するか、同窓会のホームページからご連絡ください。

「松楓」定期購読 賛助金の申し込み

郵便局の「払込取扱票」でお申し込みいただけます。

・払込取扱票は、役員または飯能高校の事務室窓口で配布しています。
・振込手数料は無料です。

飯能高校同窓会では、同窓生の様子や学校の近況を、多くの会員の方々に知っていただくべく、毎年会報「松楓」を発行しています。
この「松楓」は、定期購読(5年間1000円)できます。

また、同窓会の活動に賛助していただける皆様に、賛助金をお願いしています。
定期購読料、賛助金は、郵便局の払込取扱票で振り込むことができます。払込取扱票は、同窓会役員または飯能高校事務室窓口で配布しています。

定期購読、賛助金とも手数料は同窓会が負担し無料です。

令和6年度 同窓会役員一覧

顧問	矢島 得充(学校長)
	田中 晃一(16回卒)
	本橋憲一郎(20回卒)
	澤田 清志(23回卒)
参与	町田多加次(4回卒)
会長	都築 敏夫(24回卒)
副会長	市川 光男(24回卒)
	(事務局長)
	中里 敏男(25回卒)
	(総務)
	新野代里子(28回卒)
幹事	(会報)
	佐野 勇(34回卒)
	豊田 美子(35回卒)
	嶋田 一幸(36回卒)
	若林 淳子(30回卒)
会計	奥田由記子(30回卒)
	原島 稔久(17回卒)
監事	鯨井 暢(28回卒)
	細田 宏子(28回卒)
会報委員	矢島幸一郎(35回卒)
	小澤 真帆(65回卒)
校内理事	



令和6年度 学校の近況について



教頭
発智 祐助



教頭
山本 仁

また、4月19日に体育館で離任式が行われるなどコロナ禍前の学校生活に戻りました。

昨年度開設した「ICT室」、「ALC（アクティブラーニングクラス）」、「ラーニングcommons（自習室）」を活用し、本校の特色の一つである探究活動の充実をさらに図っているところです。

令和6年度、飯能新校がスタートして2年目に入りました。4月8日「始業式と入学式」で、新学期が始まりました。

新型コロナウイルス感染症が5類へと移行したことに伴い、様々な制約が緩和され、4月11日体育館にて新入生歓迎会が行われました。



新入生歓迎会



ALC 室



ラーニング commons

目指す学校像にもあるように、進学を重視しつつ、生徒の多様な進路希望の実現のため、生徒一人ひとりを最後まで支援しその能力を伸ばし続ける面倒見の良い教科指導・進路指導を継続してまいります。

これからも地域の方々、同窓会の皆様のお力をさらにお借りしながら、生徒がたくましく生き力を育てる教育を進めて行きたいと思えます。引き続き本校の教育にご理解・ご協力をいただければ幸いです。

◎主な学校行事

4月 入学式(8日)

278名の新入生を迎えました。

4月 遠足(26日)

1年生は池袋に集合し、お台場で活動する1日でした。

2年生は修学旅行に向けて羽田空港に集合し、班ごとに計画を立てて都内各所を見学しました。

3年生は昨年度と同様に、東京デイズニードに行き、親睦を深めました。最高の遠足日和で、生徒の様々な表情を見ることができました。

5月 PTA総会(11日)

当日は、公開授業ののち、各種

委員会、総会が開催されました。令和5年度の事業・決算報告、令和6年度の事業・予算案は無事に承認されました。

6月 体育祭(4日)

準備段階で大雨のため実施できるか否か不安でいっぱいでしたが、当日何とか天候も回復し種目の大幅な見直しもして、天候不順の中でも体育祭を行うことができました。今年も多くの保護者に来校いただき、生徒の一生懸命な姿をご覧いただきました。



体育祭

年度は本校舎のみの実施予定です。

◎部活動の大会実績等

令和6年度

ホッケー部

男子 関東大会準優勝

インターハイ(長崎) 出場決定

女子 関東大会準優勝

インターハイ(長崎) 出場決定

卓球部

男子ダブルス 県ベスト16

女子団体 県大会ベスト32

陸上競技部

男子 400m・400mハードル・400mR・1600mR・

走り高跳び・三段跳び・円盤

投げ・ハンマー投げ(県大会出場)

女子 400m・800m・ハン

マー投げ(県大会出場)

弓道部

県大会出場

剣道部

男子団体県大会出場

写真部

埼玉高写連展出展

華道部

高校生花いけバトル関東大会

8位

チアダンス部

高等学校ダンスドリル選手権

関東大会2位

◎今後の主な学校行事
9月8日(日) 榛の木祭(文化祭)、今年度も一般公開を実施する予定です。
11月15日(金)「ウォーク21」(強歩大会) 吾野駅を起点にして約21kmを奥武蔵の豊かな自然に触れながら歩きます。昨年度は雨天のため中止となりましたが、本

母校だより

ソフトテニス部

顧問 板垣 一輝

小俣みゆき

白木 奈望

諸井 文哉

飯能高校のソフトテニス部は

飯能南高校のソフトテニス部の

流れを受け、令和5年度より新

設された部活動です。男子部員

2年生4名、1年生4名、計8

名と少人数ではありますが、各

人が積極的に部活動に励んで

います。

指導に関しては、試合後に生

徒自身にプレーに点数をつけさ

せ、自分のプレーを考えさせる



環境科学部

顧問 諸井 文哉

環境科学部は、1年生10名、

2年生4名、3年生3名の計17

名で活動しております。「環境

科学」という名称からは、何を

しているのかよく分からない方

も多いと思いますが、主にニコ

ニコ池での生物調査や生物の飼

育、谷津田でのボランティアな

どを中心に行っています。

ご存じの方も多いとは思いま

すが、ニコニコ池は学校から歩

いて約10分のところにある小さ

な池です。環境科学部では、こ

ちらの池に、月に1回程度の頻

度で罟を仕掛け、捕獲できた生

物の生物種・個体数の確認、外

来生物の駆除などを行っています

です。このときに保護したミシシ

ッピアカミミガメは今も生物室

で飼育しており、部員一同かわ

いがっています。



また、谷津田でのボランテ

ィアは、飯能市役所の環境緑水

課が主催している「天覧山谷津

の里づくりプロジェクト」とい

うものに参加させていただき、

いわゆる「里山」の整備にかか

わっています。ボランティアに

貢献しつつ、地元では見ること

にふれあい、市街では見ること

のできない珍しい生物を見つけ

て楽しんでいます。



このように豊かな自然に囲

まれた飯能という立地を活かし

て、生き物好きの生徒が楽しん

でいるのが環境科学部です。榛

の木祭でも環境科学部は展示等

を行う予定ですので、興味のある方はぜひいらしてください。

令和6年度人事異動

(退職)

教諭 パイヤール祥子

教諭 福元 聡美

業務主事 田中 栄一

(転出)

教諭 上里 竜司(所沢西高校)

教諭 山本 裕美(川越西高校)

教諭 阿部 美智子

教諭 小田桐優真(所沢中央高校)

主事 堀 健太郎(朝霞高校)

業務主事 橋本 健 (豊岡高校)

(転入)

教諭 大塚 翔也(初任者)

教諭 児玉 紗織(上尾高校定時制)

教諭 山本 柚 (初任者)

教諭 小山田由樹(川越南高校)

教諭 中窪 剛 (初任者)

教諭 小倉 礼子(芸術総合高校)

教諭 田中 淑子(川越西高校)

教諭 玉置 和実(和光特別支援学校)

教諭 長谷川 誠(初任者)

教諭 石田 志保(本校南校舎)

教諭 仲川 勇作(浦和工業高校)

教諭 小俣みゆき(所沢高校)

教諭 小野沢希美(所沢市立和甲小学)

教諭 清水 優 (川越西高校)

教諭 塚原 利枝(所沢中央高校)

業務教諭 大塚 剛士(志木高校)

主任 佐宗 孝紀(日高特別支援学校)

